

千葉商科大学国府台学会会則（抜粋）

第 2 条 本会は、会員の研究助成とその発表普及を目的とする。

第 3 条 本会は、千葉商科大学の専任教員をもって組織する。

第 4 条 本会は、次の事業を行なう。

1. 機関誌『千葉商大論叢』『千葉商大紀要』の発行。
2. 各種研究会・講演会の開催。
3. その他本会の目的を達成するために適当と認められる事業。

第 5 条 本会に次の役員をおく。

1. 会長 学長がこれにあたる。
2. 運営委員長 運営委員の互選による。
3. 運営委員若干名 会員総会で選出され任期は 1 年とし本会の事務を分担する。

前 号 目 次

論 説

- An Analysis Model on Marketing Channel Structures: Information Cost by Advertising Effect and, Quantitative and Qualitative Performance of Marketing Communication NISHIMURA, Fumi Taka (1)
- 広告の循環的反応モデルにおける熟成効果の測定 須 永 努 (15)
- 危機管理の理論
— 事業継続のための経営戦略 — 仲 間 妙 子 (35)

研究ノート

- 株式リターンは予測可能か 石 山 嘉 英 (61)
- チャールズ・バベッジの原価管理思想 (V)
— 著書・第 1 部「生産技術からみた経営管理の研究」
(3) について — 佐 藤 正 雄 (73)
- 産業発生と地域 鈴 木 孝 男 (87)
- 日本の大企業（東証一部上場企業）の収益性に関する
長期時系列分析（1960年代～1990年代）
— 使用総資本事業利益率の観点から — 武 見 浩 充 (101)
- 税制理想的改革案 中 野 百々造 (117)

その他

- 平成19年学外研究活動報告 (125)
- 千葉商大論叢第45巻総目次 (129)